

11月14日

2022年  
(令和4年)

月曜日  
第20172号(日刊)  
土、日曜・祝日は休刊

# 鉄鋼新聞

## Japan Metal Daily

### 協会 東工大で「鉄」の特別講義 鉄鋼 愛知製鋼・野村経営役員を講師に

日本鉄鋼協会は、10日夕に東京工業大学で「大学特別講義」を開催し、愛知製鋼の野村一衛経営役員開発部長が大岡山キャンパスで約200人の物質理工学院材料系の学生、大学院生、教員、同窓生などに「『鉄』の進化が世界の当たり前をつくる」鉄鋼概論と自

動車を支える特殊鋼技術」と題して講演した。野村経営役員は、研究開発に長年携わってきた経験を交えながら、鉄の素材としての魅力やリサイクル性などに優れた鉄の特性、自動車と鉄の深いつながり、カーボンニュートラルや自動車の電動

懇親の場で学生の質問に答える野村氏



化を迎えてのこれからの鉄の可能性などを詳しく説明した。今回は、東工大の竹

山雅夫教授工学博士の立案により、講義のあとに別室で野村経営役員と学生がより接近して会話ができるように、2部構成で懇親会も開催。参加者が自分たちの研究上の悩みや今後の進路などについて質問したり、自動車と鉄の今後の関係についてより深く質問をする学生の姿が目立ち、野村さんは自らの経験を交えて丁寧に質問に答えた。

## 鉄鋼協会が特別講義

### 愛知製鋼の野村氏登壇

東工大で

日本鉄鋼協会(会長 古原忠・東北大学金属材料研究所長教授)は10日夕、企業経営幹部による大学特別講義を東京工業大学大倉山キャンパスで開いた。愛知製鋼の野村一衛取締役経営役員開発本部長が講師となり、物質理工学院材料系の大学

生、大学院生やOBなど200人が聴講した。テーマは、「鉄」の進化が世界の当たり前をつくる―鉄鋼概論と自動車を支える特殊鋼技術―。

野村氏は鉄の起源から優れている点、製造過程や用途などを紹介。リサイクル性の高

さについては、製錬時の金属組織構成などを材料研究を行う学生に向けて具体的に解説した。このほか、愛知製鋼や特殊鋼の自動車に



学生の質問に応じる愛知製鋼の野村氏

関する技術開発事例も紹介した。製品研究を通じて自動車の軽量化や性能向上、さらには燃費の向上にも貢献する「エコプロダクト」やカーボンニュートラルなど鉄鋼業界の最新の取り組みなども紹介した。

野村氏は学生に対して「研究や技術は社内で認められることがゴールではない。お客さまなど社外の人に評価を頂くことが重要だ」と話し、取引先を訪問して顧客が抱える課題やニーズを聞いて回った自身のエピソードなどを交え、企業研究者のあるべき姿なども話した。

講義終了後には、学生らが野村氏を囲んでさまざまな疑問を投げかけるなど活発な議論がなされた。

進行を務めた東工大の竹山雅夫教授は「普段接する機会がない企業の幹部へさまざまな話を伺うことができ、学生にとって刺激になった」と話した。